

研究テーマ 資料の精選を通して、地域への興味・関心を高める指導の工夫
—第3学年 「市の様子の変り変わり」—

【提案】

本実践を進めるにあたり、児童の実態として自分たちが住む町に対して興味・関心は低く、地域の一員として町について知ろうとする児童は少ない。そのため、寄居町のよさに目を向けられていないことも明らかになった。そこで情報を得やすくするために具体的な資料を提示したり、調べてきたことの関連性を探る活動を入れたりし、自分の町が昔と比べ大きく移り変わってきたことを理解させ、自分の町に対する興味・関心が高められるようにした。



【今まで調べてきたことを基に、何がきっかけでどんな変化が起きたのか関連性を探る様子】

1 実践のポイント

(1) 具体的資料を提示し、移り変わりを読み取る活動

学習指導要領解説 第3学年では、目標の(1)に「具体的資料を通して～」とある。3年生では写真や地図など視覚的にわかりやすいものが町の移り変わる様子を捉えやすいと考え、図書館や町役場に行き必要な資料を探したり、長い間地域に住んでいる方の話を聞いたりとすることで、昔の様子と現在の様子を比較できるような具体的な資料を精選し提示した。そして、町の様子の変り変わりを読み取れるようにした。

(2) 調べてきたことの関連性を探る活動

寄居町は様々なことが重なり様子を変化してきたことをおさえられるように、土地利用、交通、公共施設、人口、生活の道具など各カテゴリーで調べてきた社会的事象を時代ごとに整理した。そして、それぞれの社会的事象を相互に関連付けたり、結び付けたりして町全体の変化を捉えられるようにした。

2 実践の位置付け

(1) 小学校学習指導要領との関連

内容(4) 市の様子の移り変わりについて、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア(ア) 市や人々の生活の様子は、時間の経過に伴い、移り変わってきたことを理解すること。

(イ) 聞き取り調査をしたり地図などの資料で調べたりして、年表などにまとめること。

イ(ア) 交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、市や人々の生活の様子を捉え、それらの変化を考え、表現すること。

小学校社会科では、3年生で地域の学習から始まり、4年生で県の学習、5、6年生で日本、世界の学習と対象が広がっていく。そのスタートである3年生の地域の学習において、自分の住む地域の歴史やよさを見いだすことで地域社会への興味・関心を高められると考える。また、本小単元は「歴史と人々の生活」に区分される内容で、時間的な見方・考え方を働かせることができる最初の学習である。学年が上がり学習の対象が広がっても、3年生で学んだ社会的事象の見方・考え方をもとにして、社会的事象と向き合っていくことができ、地域社会の一員としての自覚を養うことにもつながってくる。

(2) 実践のポイントの学習評価との関連

・子供をよりよく見取るための評価方法の実施

時期や時間の経過による町の変遷を写真や白地図を用いて視覚的にわかりやすく捉えられるようにすることで、変遷の様子をどのように捉えたのかを児童の発言やワークシートから評価できるようにした。そして、授業の最後の振り返りを書く場面では、「どのように」移り変わってきたのかと移り変わってきたことで「人々の生活はどのように変わったか」という視点を持たせ書かせることで、社会的事象と関連付けながら町の移り変わりをより深く捉えることができた。また、振り返りと同時に、疑問に思ったことも書かせるようにし、その児童が1時間で何を考え、そこからどのような問いをもったのかを見取れるようにした。

3 実践の内容

(1) 単元の目標と評価規準

町や人々の生活の移り変わりの様子に関心をもち、移り変わる過程について調査や情報を意欲的に調べ、町の様子と人々との生活の様子の変化を結び付けながら、時間の経過に伴って移り変わったことを理解できるようにし、町の発展を考え、地域社会の一員としての自覚を養えるようにする。


| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|--|--|
| ①町や人々の生活の様子の移り変わりについて、時間の経過によって変化していることを理解している。 ②具体的な資料から、必要な情報を読み取り、調べたことをノートや年表に整理して、町や人々の生活の移り変わりを理解している。 | ① 町や人々の生活の様子の移り変わりについて、学習問題や予想を考え、時間の経過に伴う違いに着目して町の様子に変化していることを、適切に表現している。 | ①町の様子の移り変わりに関心をもち、問題解決の見通しをもって主体的に学習問題を追究・解決しようとしている。 ②町の一員として、これからの町の発展に関心をもち、進んで話し合い、考えようとしている。 |

(2) 指導計画と評価計画（9時間）

※網掛けは、評価したことを記録に残す場面

○内の数字は時間を表す。 知：知識・技能 思：思考・判断・表現
 く>内は評価の方法を表す。 態：主体的に学習に取り組む態度

| | 学習活動・学習内容 | 評価の観点・内容・方法 | 資料 |
|-----|--|--|------------------------|
| つかむ | ① 昔と現在の鉢形小学校や町役場周辺の航空写真から、様子が変わっていることを知り、学習問題をつくる。 学習問題 わたしたちの寄居町は、どのように変わってきたのだろうか。 | 態① 学校や町役場周辺の変化に関心をもち、意欲的に調べようとしている。 〈観察・発言〉 | ・昔と現在の鉢形小の写真と役場周辺の航空写真 |
| | 実践のポイント(1) | 思① 調べたことを基に学習問題について話し合い、学習問題をつくり、予想してノートに表現している。 〈発言・ノート〉 | |
| | ② 学習問題を解決するための計画を立てる。 ・学習計画を立てる | 思① 学習問題を解決するために必要な調査を考えて、具体的な計画を立てる。 〈発言・ノート〉 | ・年表 |
| 調べる | ③ 寄居町の土地利用の移り変わりについて調べ、白地図に着色する活動を通してまとめることで、土地利用の特徴を考える。 ・桑畑がなくなってきたこと ・住宅や店が広がったこと ・工業が盛んな場所ができたこと 実践のポイント(1) | 知① 寄居町は桑畑が少なくなり、住宅地や店、工業地域が広がったことを理解している。 〈発言・ノート〉 | ・白地図 |
| | ④ 寄居町の交通の移り変わりについて時代ごとに白地図にまとめることで、その特徴を考える。 ・寄居駅を中心として、町全体にいろいろな鉄道や駅が広がっていったこと | 知② 寄居町の交通は時代が進むにつれて、発展してきたことを白地図にまとめ、理解している。 〈発言・ノート〉 | ・年表 ・白地図 |
| | ⑤ 寄居町の公共施設の移り変わりについて、小学校のできた時代や場所を白地図にまとめたり、昭和・平成時代に公共施設が多く建てられたことを年表で確認したりすることで、その特徴を考える。 ・寄居町の小学校は、明治時代を中心に建てられたこと ・寄居町の公共施設は、昭和・平成時代に多く建てられたこと ・税金 | 知① 寄居町の小学校は明治時代を中心に建てられ、公共施設は昭和・平成時代に多く建てられてきたことを理解している。 〈発言・ノート〉 | ・年表 ・白地図 |
| | ⑥ 寄居町の人口の移り変わりについて、グラフなどの資料をもとに調べる。 ・町の人口の移り変わり ・昭和55年以降、関越自動車道開通や新駅開通などをきっかけに顕著に人口が増加していること ・平成12年以降は減少を続けていること | 知② グラフから寄居町の人口や人口密度が変化していることを読み取り、その理由を理解している。 〈発言・ノート〉 | ・人口推移のグラフ |
| | ⑦ 暮らしの道具の移り変わりについて、実際に体験することで、特徴を考える。 ・暮らしの道具は、人々の生活に合わせて変化してきたこと 実践のポイント(1) | 知① 暮らしの道具は、人々の願いや工夫により便利になってきたことを理解している。 〈発言・ワークシート〉 | ・年表 ・昔の道具 |
| まと | ⑧ 調べたことをまとめ、町の移り変わりについて、話し合い、学習問題の結論を考え | 思① 公共施設、土地利用、交通、人口などの時期による | ・白地図 ・年表 |

| | | | |
|-----|--|---|------------------|
| める | <p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町の様子の移り変わりは、人々の生活と関連していること ・学習問題の結論を考えて記述すること <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">実践のポイント(2)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>学習問題の結論</p> <p>寄居町は、昔は畑が多かったが、時間が経つにつれて学校が建てられたり、交通が発達したりして住宅地や工業地域が広がっていった。それに伴い人口が増えていった。</p> </div> | <p>違いに着目して、現在の寄居町があることを学習問題の結論として表現している。 〈発言・ノート〉</p> | |
| 生かす | <p>⑨ 寄居町が抱える課題を理解し、寄居町はこれからどのように変わっていくとよいかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少 ・寄居町の人口減少への取組  | <p>思① 寄居町では人口減少が進んでいくことをもとに、これからの寄居町について考え、表現している。 〈発言・ワークシート〉</p> <p>態② これからの寄居町について考えようとしている。 〈発言・ワークシート〉</p> | <p>・人口推移のグラフ</p> |

4 実践結果と考察

(1) 具体的資料を提示し、移り変わりを読み取る活動

学習指導要領解説第3学年では、目標の(1)に「具体的資料を通して～」とある。導入では、約80年前の校舎と現在の校舎の写真を比較させ違いを見つけさせた。その後、「移り変わったのは学校の校舎だけだろうか。」という教師の発問に対し、児童は「建物以外のものも変わった。」と答えたため、どんなものが変わってきたのかを考えさせ、学習問題である「わたしたちの寄居町は、どのように変わってきたのだろうか。」につなげていった。第3～6時は白地図と年表を、第7時は昔の道具などを提示して移り変わりを視覚的にわかるようにした。

<第1時> 古い校舎と現在の校舎が違うことを捉える活動で使用した写真

<児童の反応>



約80年前の写真

～違い～

- ・白黒写真
- ・2階建て
- ・周りに畑がある
- ・プールがない
- ・門の場所が違う



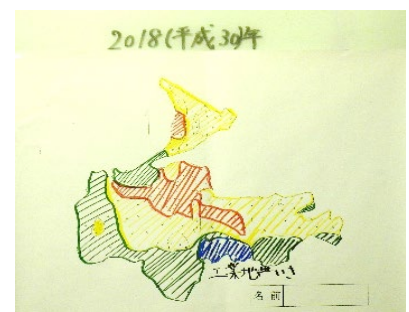
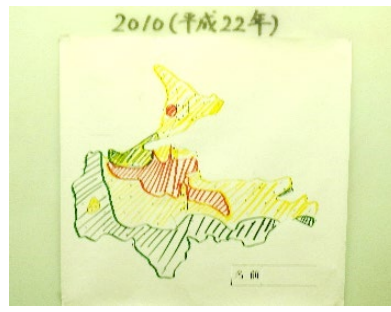
現在の写真

現在と昔の航空写真

第1時に提示したその他の資料



約50年前の卒業生の写真



赤：家やお店
黄：田や畑
緑：森林



田や畑の面積が減り、住宅地の面積が増えたね。
工業地域もできてるよ。

<第7時> 道具の移り変わりを探る活動

下の写真にある道具などを実際に児童が触れ、使い方を学んだ。



手回し洗濯機



黒電話



羽釜

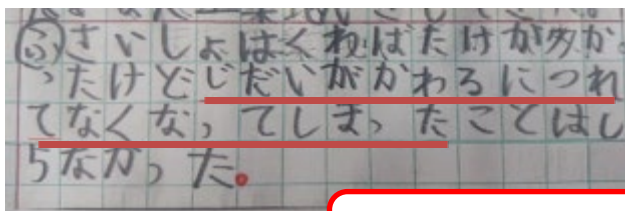


上の写真にある3つの道具がどのように
変わり現在に至ったのかを年表でまとめ、な
ぜ変わったのかや、人々の暮らしがどう変化
したのかを考えさせた。



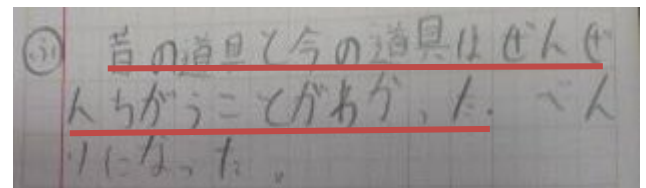
① 時間の経過による

土地利用の変化に着目した児童



② 道具の変化と

その様子に着目した児童



時代ごとの移り変わりを理解

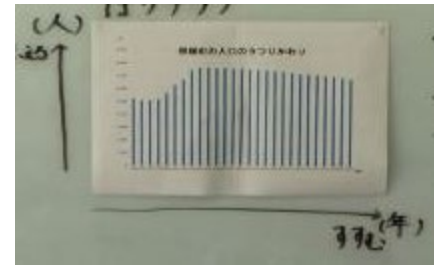
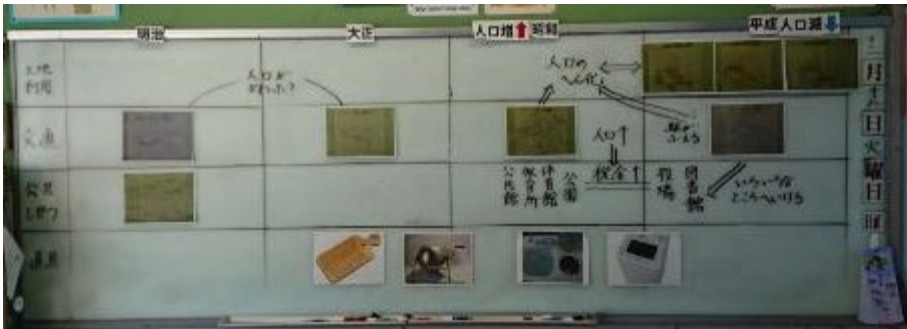
昔と今の写真などを比較することで、児童は時代が進むにつれて、町の様子に変化していくのを視覚的に捉えることができたと思う。

(2) 調べてきたことの関連性を探る活動

これまでに寄居町が移り変わってきたことを各カテゴリー別に調べ、学んできた。前時（第7時）の最後に「その変化は別々に起こったものか。」という教師の発問に対して「調べてきたものが関わり合って変化が起きた。」と多くの児童は答えた。その発言をきっかけに、今まで学んだことが関わり合っているのかをとらえられるように時代ごとに整理するだけでなく、寄居町ができた頃や人口が増加した頃など寄居町で変化のあった時代に注目させることで、明らかになった社会的事象それぞれの関連性に着目させた。

<第8時>【今まで調べてきたことを基に、何がきっかけでどんな変化が起きたのか関連性を探る活動の板書】

※右のグラフは、第6時に取りあげた「寄居町の人口の移り変わり」であり、このグラフをもとに人口の増えた時期と減った時期を黒板上部に示した。



<児童の話し合いの様子>



今日は、今まで調べてきたことのつながりについて考えていきましょう。

昔は畑だったところに、駅ができていますね。



たくさん駅ができたことで、人口が増えてきているね。

土地利用が変わると、人口も変わるんだね！

土地利用と人口の関連



公共施設もたくさん建てられてきているね。

税金がたくさん集まったからだと思うよ。



なんで税金がたくさん集まったのでしょうか？

人口が増えてきたから、税金も集まって、公共施設が建てられたんじゃないかな。

人口と公共施設の関連

調べてきたことをもとに互いの関連性を見つけることで、いろいろなものが関係しながら寄居町が変化してきたことを理解することができたと思う。

5 研究の成果と今後の課題

<成果>

- ・はじめは、自分が住む寄居町に興味・関心がない児童もいたが、寄居町の様子の変わりを理解することで、寄居町への興味・関心が高まり、寄居町に目を向け、自分事として将来を考えられるようになった。
- ・授業後の「寄居町はどんな町か。」というアンケートに対し、「歴史がある町」などと寄居町のよさに気付く児童もいた。このことは、地域社会の一員としての自覚の基礎を養うきっかけづくりになったと考える。

<課題>

- ・当時の寄居町の様子を具体的に児童にイメージさせることが難しかった。そのため各カテゴリーの関連を見出すことが難しかったと思われる。
- ・寄居町について、より具体的にイメージできる資料を数多く開発していきたい。